

第2次あきる野市総合計画 令和5年度進捗管理シートに対する総合計画審議会委員からの意見(7.31資料送付後)

【1 施策の成果目標】進捗管理シートについて

No	委員	対象となる章・節	意見	回答等
1		第2章第4節「耕作放棄地面積」(p.4)	「耕作放棄地面積」が「Z(評価困難)」評価となっているが、その理由は「実績としていた調査(2020農林業センサス)の項目から耕作放棄地面積が削除されており、市独自の調査も行っていないため」とされている。今後の市独自の調査結果に評価は委ねられるが、独自の調査は具体的にどのように実施するのか？	・農業委員会による日頃のパトロールを通じて、耕作放棄地を明らかにしていきたいと考えております。
2		第4章第2節「合計特殊出生率」(p.7)	「合計特殊出生率」が「C(要大幅改善)」評価となっているが、予算措置も厳しい折、出生率向上のため市が具体的に直接取り組める対策を整理する必要があるのではないか？	・市としましては、子育て支援の充実、まちづくりの推進、防災対策の推進など、各種の取組を総合的に推進し、本市をより安心して住めるまち、安心して子育てができるまちとすることで、出生率の向上などにつなげていきたいと考えております。

【2 各施策の内容】進捗管理シートについて

No.				
1		1-3-4-①「河川施設の整備・維持管理」(p.4)	内容について、対象箇所や対策など具体を問う質問をする予定なので回答をお願いします。	・河川施設については、河川管理者である東京都が水防上注意を要する箇所を毎年度公表しています。今年度は、秋川2カ所(小川地内、山田地内)、平井川2カ所(日の出橋下流2カ所)の工事を行っています。
2		1-3-1-①「道路の整備の推進」(p.2)	内容について、対象箇所や対策など具体を問う質問をする予定なので回答をお願いします。	・現状、市内全域において、狭小などの理由で緊急車両の通行や、避難が難しい道路箇所を把握することはできておりませんが、町内会・自治会などの提案を受け、改良の必要があると認められる箇所については、消防署をはじめ関係各署と連携の上、その都度対応しております。
3		5-4-1-⑧「学校における食育の推進」(p.27) 5-4-2-④「新学校給食センター整備の推進」(p.27)	学校給食での地産地消の取組について伺いたい。	・「第2次あきる野市総合計画」の関連個別計画である「あきる野市教育基本計画(第3次計画)」に次の記載があります。 ・「学校給食の食材として、地場産物を使用するとともに、栄養士による食育の指導を小・中学校で実施しています。また、秋川学校給食センターでは、夏休み期間中に、小学4年生以上の児童・生徒を対象に、地場産の食材を活用した料理教室を開催しています。」 ・「学校給食の食材としての地場産物の使用量を増やすためには、JA及び生産者の協力が必要なことから、JAを通じてその連携を深めていく必要があります。」

その他(全体)

No.				
1		—	大きな問題ではないのですが、「Z」の評価困難の項目が少し目立つような気がします。市民アンケートがないことや適切な資料がないことで、評価困難としているのだ推察します。しかし、前年度の評価でも評価困難とされているところが多く、少なくとも評価の見直しなどを示しておく方が良いと感じました。例えば、〇〇年度に市民アンケートを実施予定とか、観光客の入り込み客数については観光庁などの別の包括的な統計を用いるなどの方策を考えるべきでしょう。このままでは、「Z」の評価が目立ってしまいます。ご検討ください。	・今回のシートの評価区分については、隔年で実施している市民アンケートなどを根拠としているものは一律に「Z」で評価困難とさせていただきます。ただし、毎年進捗管理を行う中で、評価区分が隔年の調査など毎年更新できないものを根拠としている点について、評価方法など後期基本計画作成時の課題として、検討してまいります。

2		—	評価区分について「B(要改善)」評価が散見されるものの、大半は「A(目標どおり)」評価以上となっており、事業はほぼ順調に実施されているものと推察できる。なお、「Z(評価困難)」評価が10項目あるものの、その理由の大半は「令和5年度市民アンケート調査実施年ではないことから、実績値が把握できないことによるため」であり、「Z」評価となっても致し方ない。今後、事業が順調に進捗していくことを期待したい。	
---	--	---	---	--